

# 東北地方における 交通に関する現況

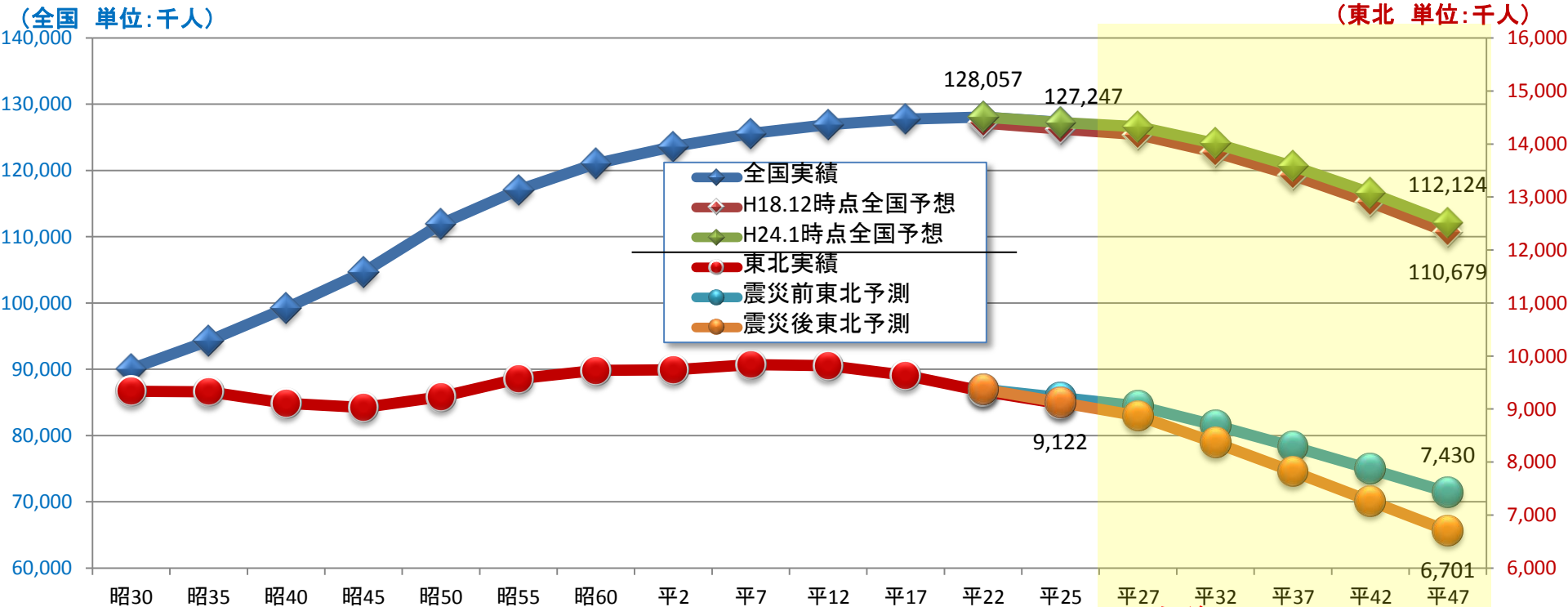


# 1. 東北地方における現況

# 1. 東北地方の社会経済情勢等の動向

- ・東北地方では、平成7年の983万人をピークに人口減少が継続。
- ・東北地方では、全国に比べて、人口減少が速く進むと予測。東日本大震災後はその流れが加速すると見込まれている。

東北及び全国の人口推移



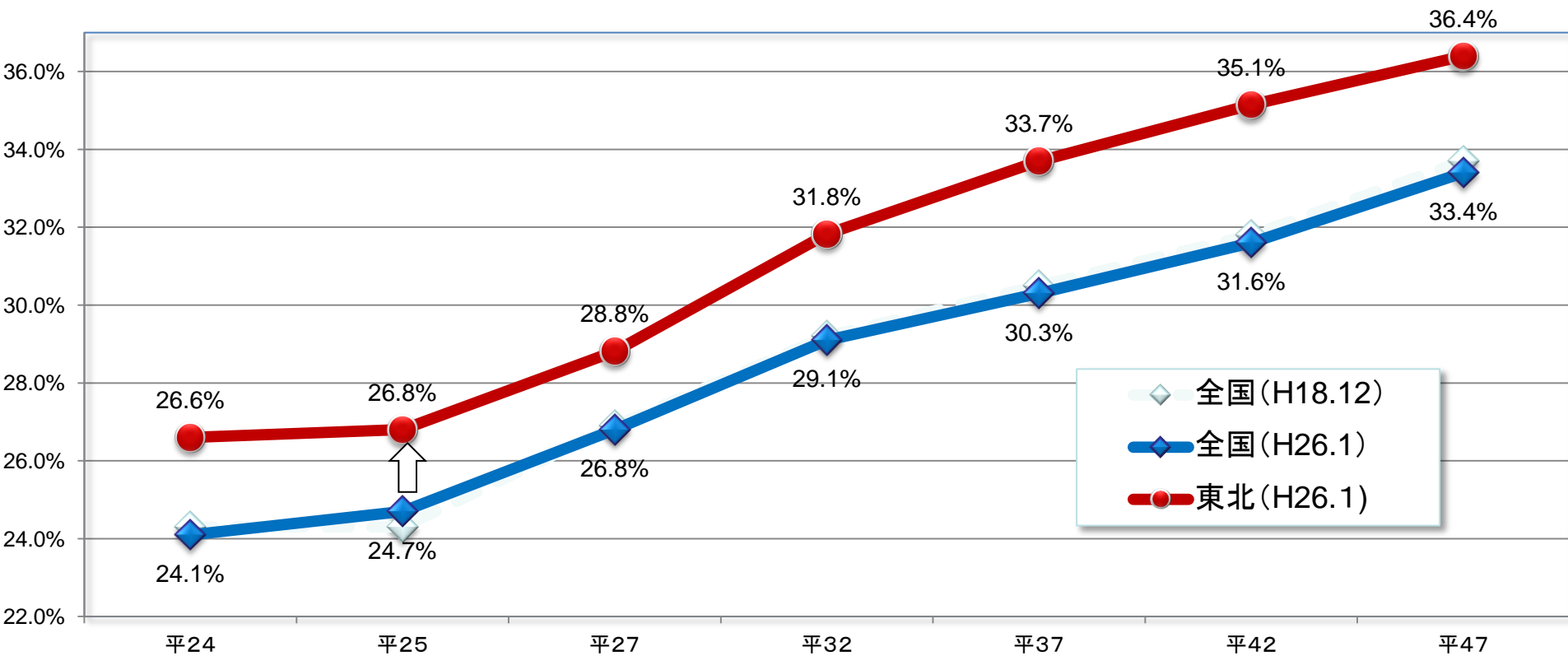
(資料)『全国実績』及び『東北実績』は、昭和30年～平成24年は総務省統計研修所編集「日本の統計2014」より  
 平成25年の実績値は、総務省統計局「人口推計(平成25年10月1日現在)」より  
 『H18.12時点全国予想』は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」より  
 『H24.1時点全国予想』は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」より  
 『震災前東北予測』は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)」より  
 『震災後東北予測』は、公益社団法人日本経済研究センター「震災の影響を織り込んだ都道府県別将来人口の推計」(出口恭子氏)より

今後の予測→→

# 1. 東北地方の社会経済情勢等の動向

- ・東北地方は、平成25年時点で全国より2.1ポイント高齢化率が高く、この傾向は今後も続くと予想される。

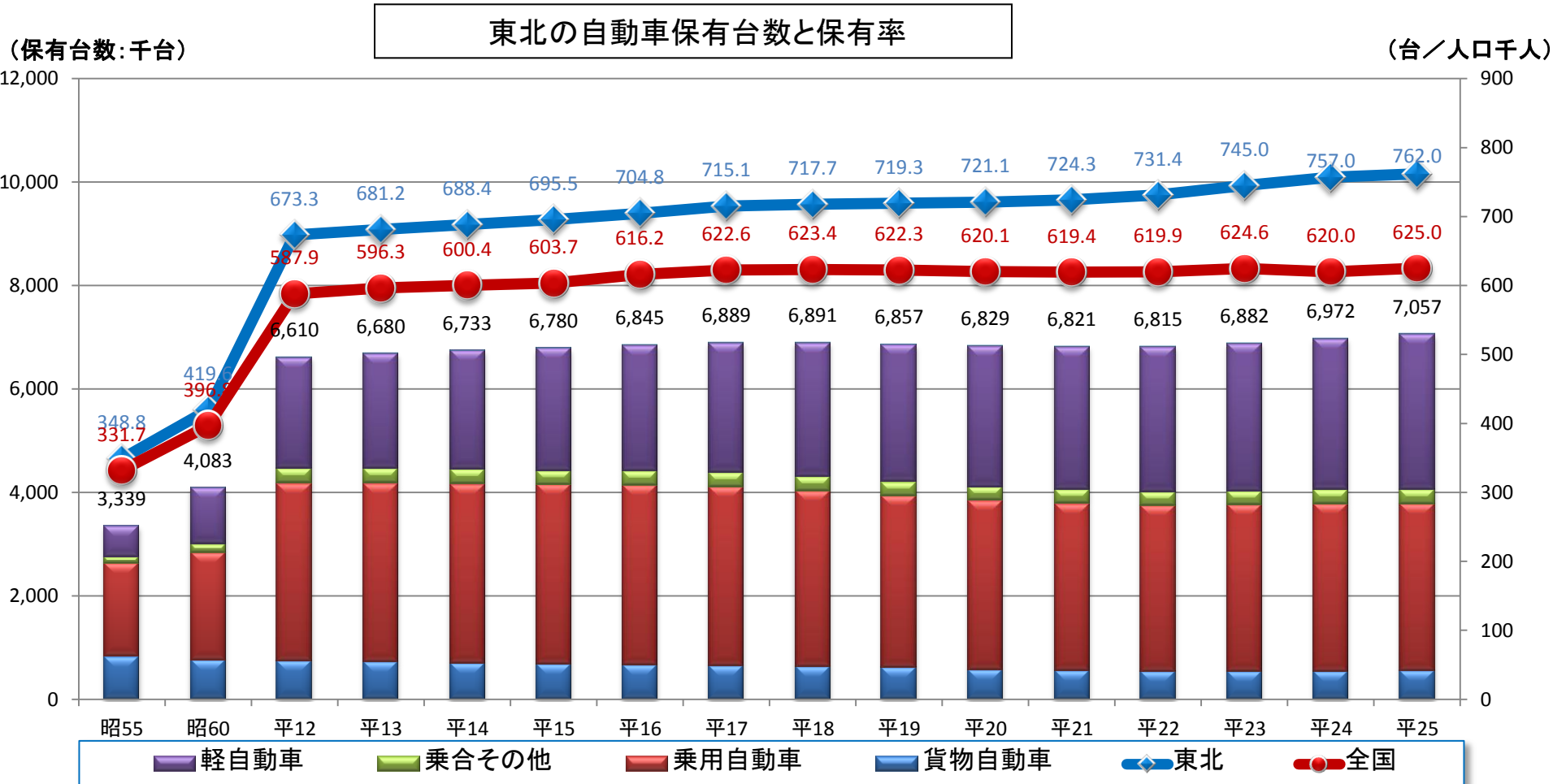
東北及び全国の高齢化率推移



(資料) 実績値は住民基本台帳人口(平成26年度版)。予測値は国立社会保障・人口問題研究所

# 1. 東北地方の社会経済情勢等の動向

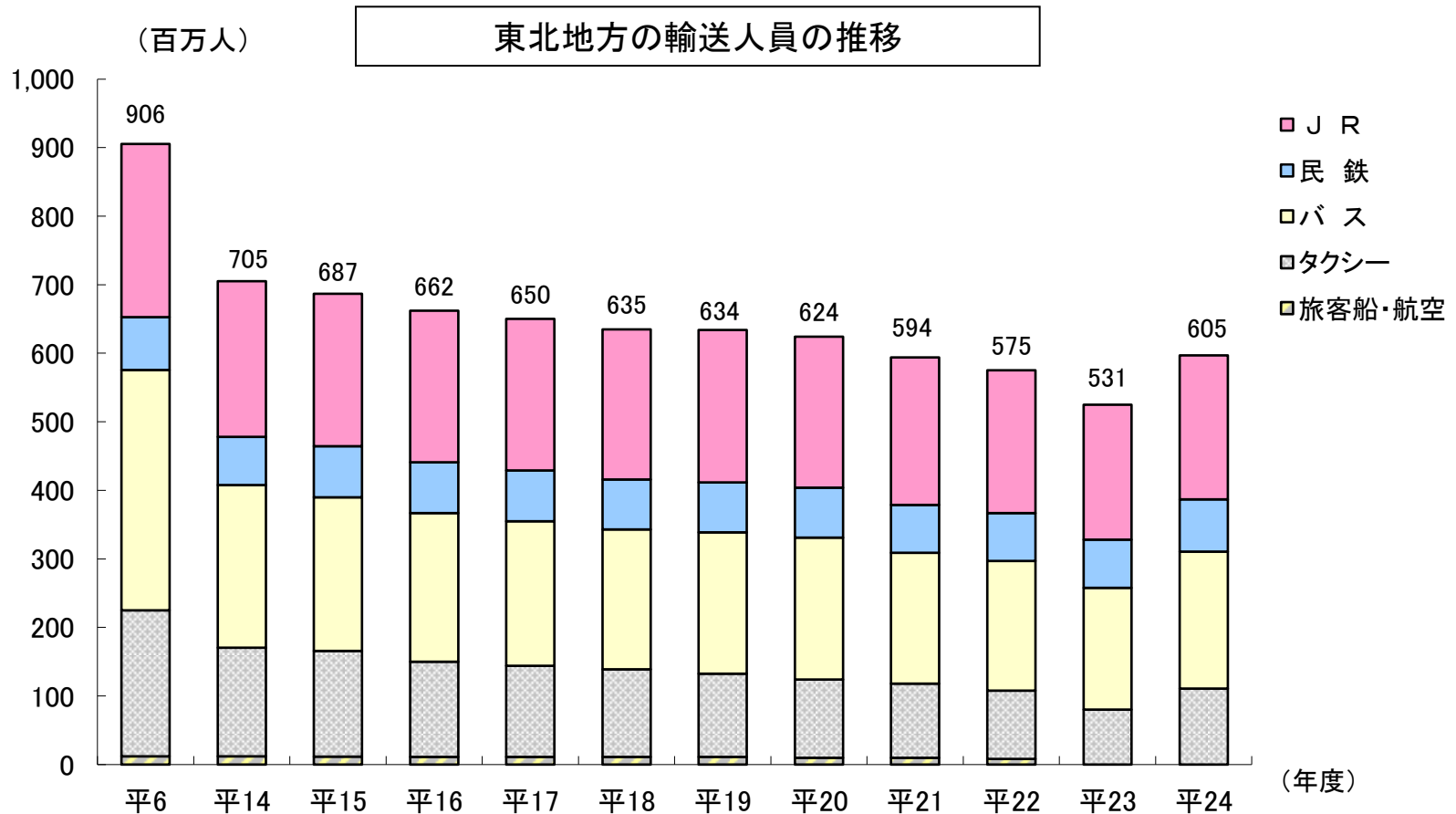
・東北地方では、人口千人あたり762台の自動車を保有しており、全国(625台)を大きく上回っている。



(資料)自動車保有台数は東北運輸局、人口は各年国勢調査及び住民基本台帳推計人口。

## 2. 旅客流動の動向(輸送人員)

- ・東北地方の公共交通機関における年間旅客輸送人員は、年々減少となっていたが、回復傾向が見受けられる。

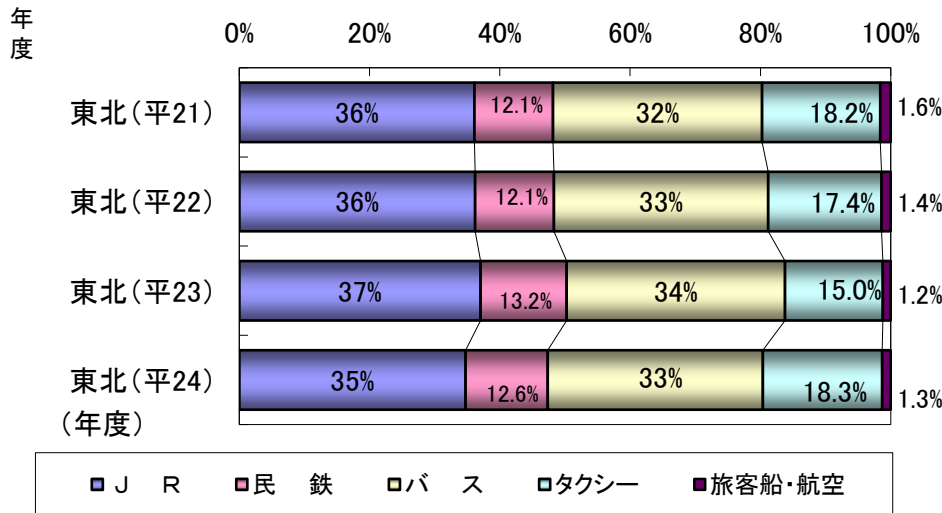


(資料)旅客地域流動調査

## 2. 旅客流動の動向（輸送機関分担）

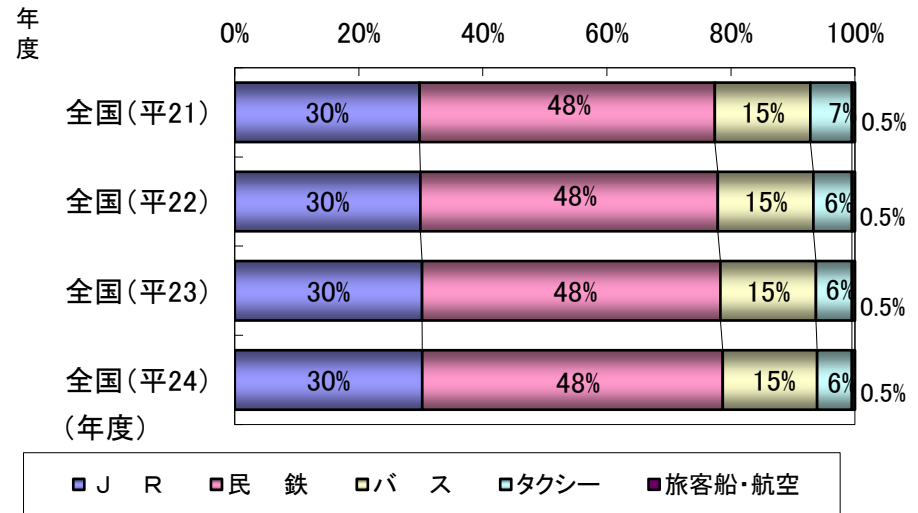
- 公共交通機関における旅客分担では、バスとタクシーの分担率が高く、この二つで約50%を占めている。全国と比較してもそれぞれの数値が約2～3倍と高い。

東北の旅客輸送機関分担



(資料)旅客地域流動調査

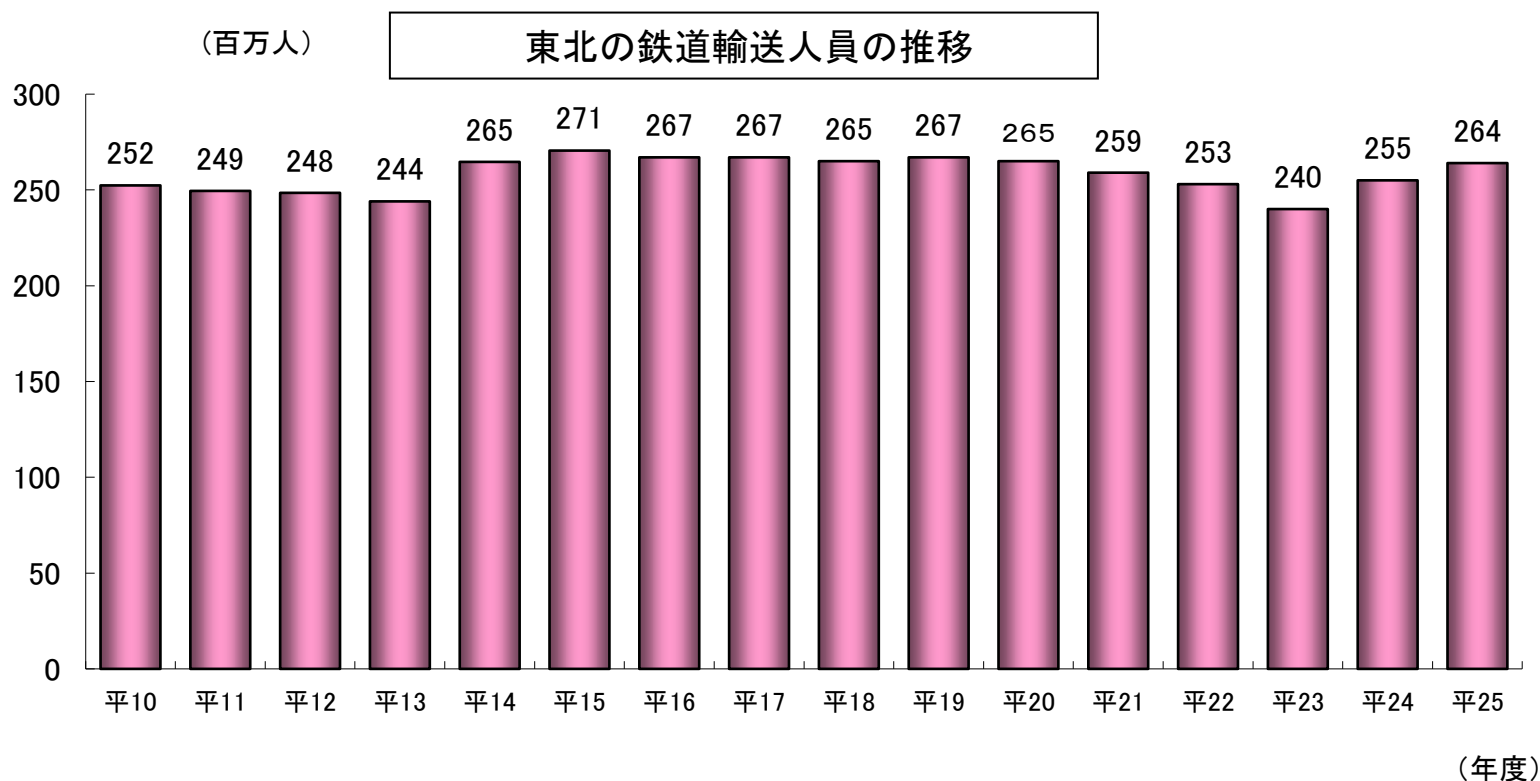
全国の旅客輸送機関分担



(資料)旅客地域流動調査

## 2. 旅客流動の動向（鉄道）

- ・鉄道輸送人員全体については、平成20年以降減少が続いており、加えて、東日本大震災の影響により大幅に減少したが、平成24年度以降は回復している。



(資料) 鉄道輸送統計年報

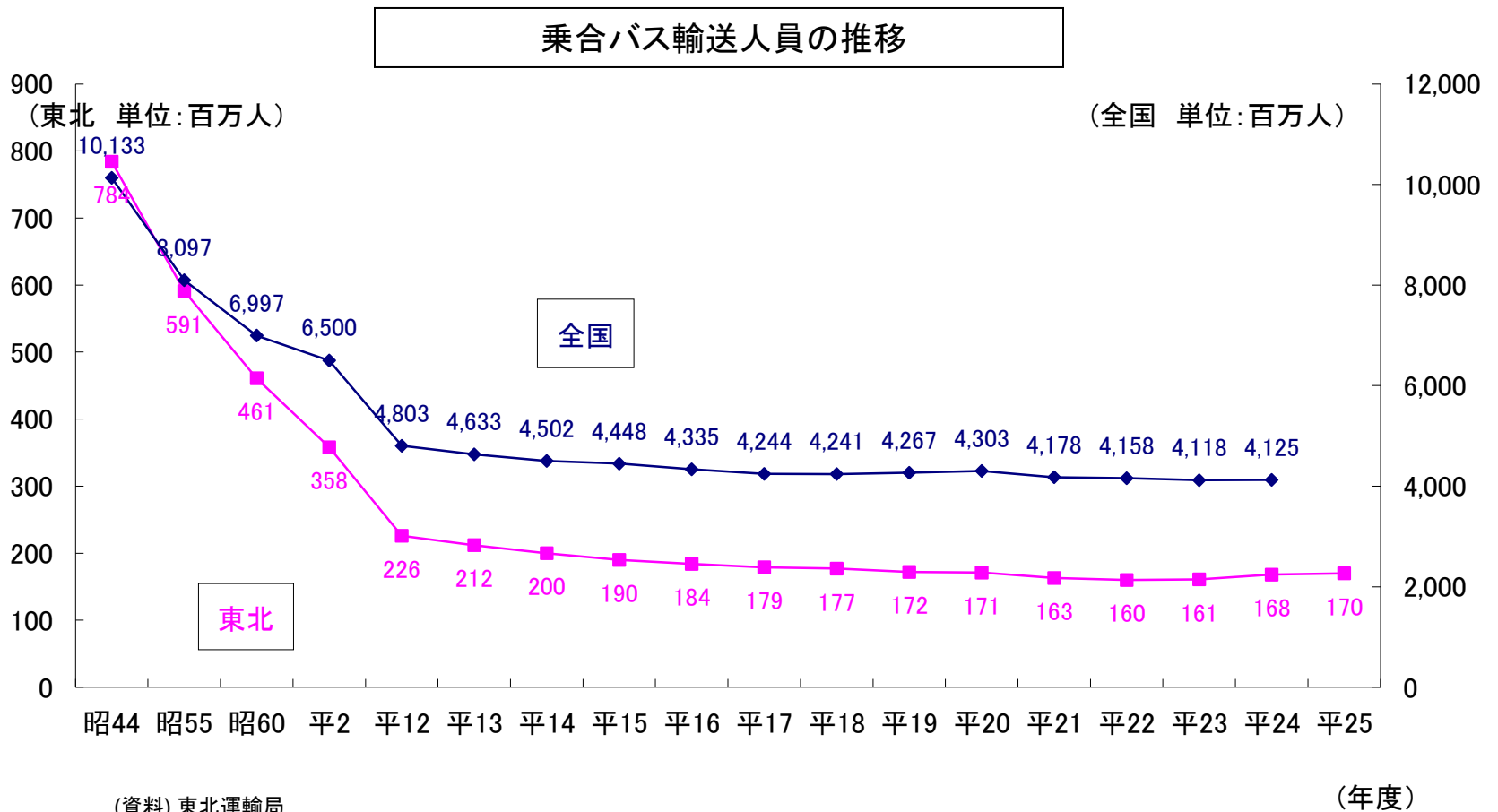
※ JR(新幹線を含む)、民鉄含む

※ 平成13年度までは管内4県、14年度以降は6県の合計となっている。



## 2. 旅客流動の動向（乗合バス）

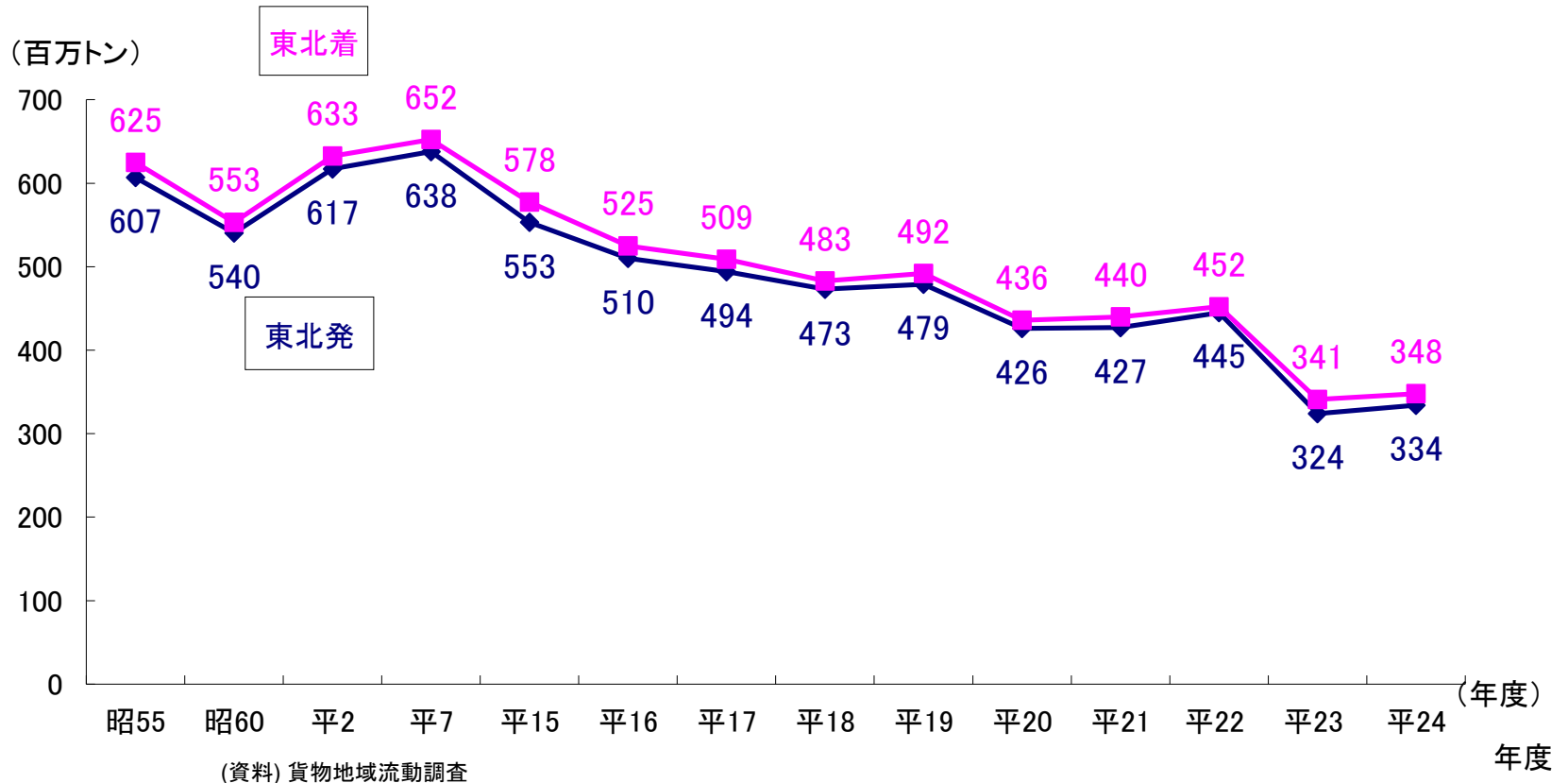
- 乗合バスの輸送人員は、東北、全国ともに緩やかな減少傾向にあったが、東北運輸局においては平成24年度以降は輸送人員が増加している。



### 3. 貨物輸送の動向(輸送量)

- ・国内貨物輸送量(トン数ベース)は、東日本大震災の影響で大幅に減少、平成24年度において増加はしているが、東日本大震災前の水準までは回復していない。

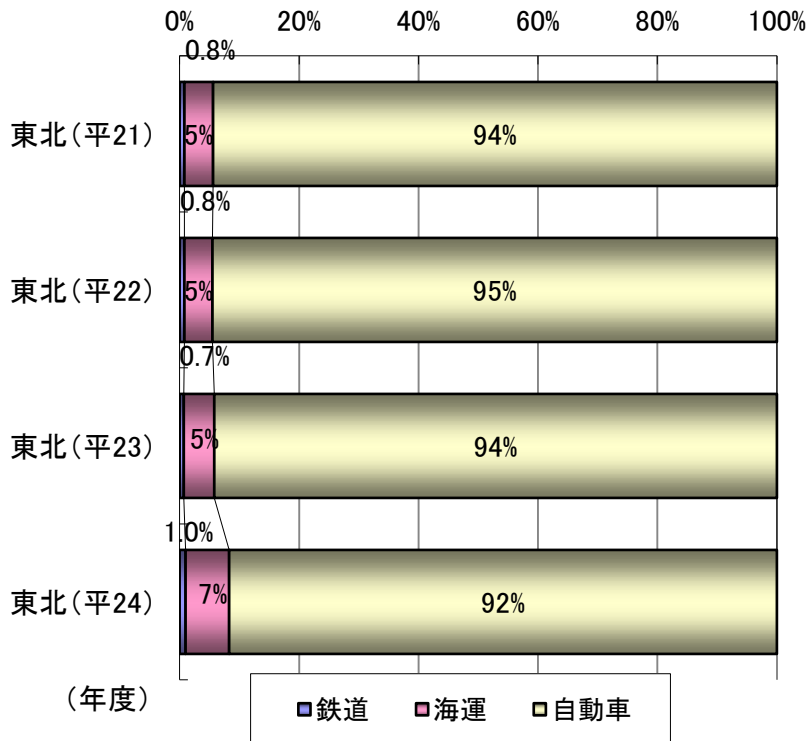
国内貨物輸送量の推移



### 3. 貨物輸送の動向（輸送機関分担）

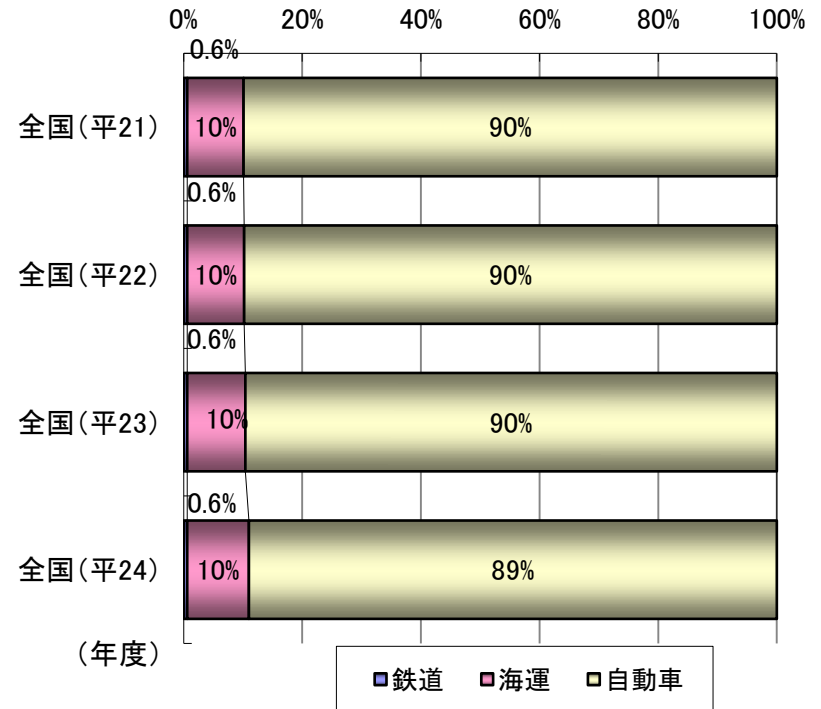
- ・全国に比べ自動車の分担率が高く、92～95%以上が自動車による輸送。

東北の貨物輸送機関分担率



(資料) 貨物地域流動調査

全国の貨物輸送機関分担率

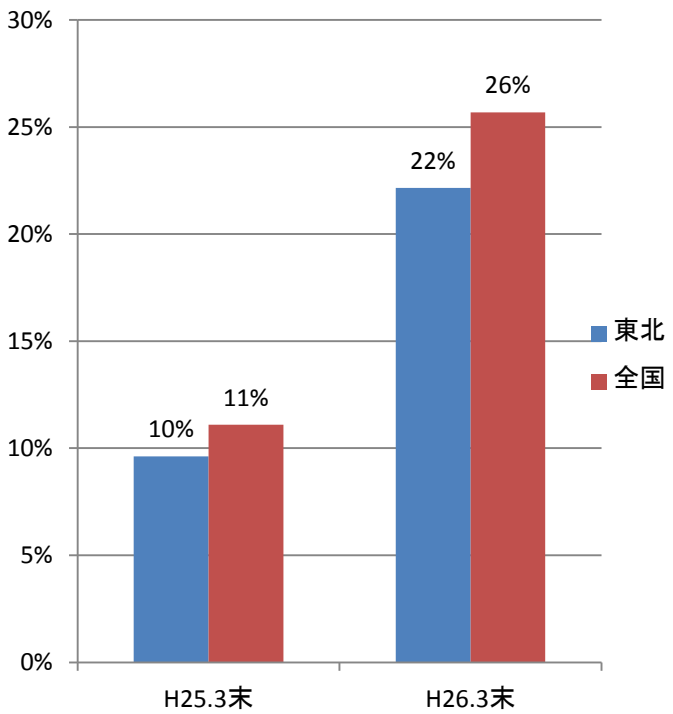


(資料) 貨物地域流動調査

# 4. 環境・バリアフリーの動向（低公害車普及率）

・平成25年3月末に比べ低公害車両数が増加しているが、全国の普及率に比べ低い傾向にある。

低公害車普及率



・平成26年3月末現在 低公害車普及状況

区分	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	計	全国
1 電気	274	322	624	428	553	1,057	3,258	39,169
2 FCV(燃料電池車)	0	0	0	0	0	0	0	47
3 CNG (H21Nox10%低減)	0	0	32	2	0	1	35	6,540
4 PHV (プラグインハイブリッドカー)	355	385	690	287	373	602	2,692	30,176
5 クリーンディーゼル乗用	1,661	1,931	2,986	1,266	1,541	2,949	12,334	160,390
6 ガソリン車・低燃費かつ低排出ガス認定車(17年基準)	75,799	95,696	248,208	81,020	104,965	195,862	801,550	11,447,453
7 ディーゼル車・平成21年排ガス規制適合Nox・PM10%以上低減	3,970	5,644	12,512	3,908	3,770	11,285	41,089	373,727
8 ディーゼル車 平成21年排ガス規制適合	566	594	1,146	462	394	791	3,953	31,477
低公害車合計	82,625	104,572	266,198	87,373	111,596	212,547	864,911	12,088,979
全車両	522,975	535,576	997,428	425,868	494,121	926,234	3,902,202	47,061,444
低公害車普及率	15.8%	19.5%	26.7%	20.5%	22.6%	22.9%	22.2%	25.7%

(資料)東北運輸局 平成26年3月末